「平和と人権」市民ネットワーク情報　NO17-5
事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2017.5/21

5・27 伊波洋一さん講演会
「沖縄の風を全国に」

伊波洋一さんから
～伊東のみなさんへ～

5 月 27 日「沖縄の風を全国に」-辺野古・高江と憲法-に向けてのメッセージ

今年は日本国憲法施行から七〇年です。日本は戦後を日本国憲法とともに歩んできました。その中で戦後の復興を果たし、民主主義を実現し、憲法が求める充実した社会制度や社会インフラを実現して世界第二位の経済大国にもなりました。一方、沖縄戦で二〇万人余の戦死者を出す戦禍を受けた沖縄は米軍統治となり、日本国憲法は適用されませんでした。沖縄に日本国憲法が適用されたのは施行から二五年後の一九七二年からです。

その沖縄に対し、安倍政権は、昨年七月から全国の機動隊を動員し抗議で座り込む県民を力ずくで排除し、多くの希少種が生息する高江の森でオスプレイ・パッド建設工事を強行しました。今度は、海草藻場が広がりジュゴンなど海洋生物 5 千種が生息する辺野古と大浦湾の美(ちゅ)ら海を埋め立てて巨大な新基地を建設しようと海上保安庁や機動隊を動員して、五〇年代の米軍のように沖縄県民を無視して新基地建設を強行しています。

5 月 27 日の講演では、高江・辺野古、また南西諸島自衛隊配備問題など、今沖縄で起きている事、そしてこの国の安全保障政策の在り方についてお話いたします。
多くの皆さまのご参加お待ちしております。

沖縄の風 参議院議員
伊波洋一

ようこそ、伊東へ
～伊波さんを迎える～

議員と私

平田大海

伊波議員は「学者的タイプ」の方です。理学系大学を卒業されていますが、調査・分析・理論構築そして鋭い国会質問は、日米両政府から恐れられています。冷たき人と思わないでください。とっても優しい人です。初の出会いは、2011 年 7 月 16 日に行われた沼津での講演会でした。その時、6 月に行った「志村カトリック教会」での講演資料をお渡しして、「推薦」をお願いしました。伊波さんからは不足分を修正したうえに、「推薦」をいただきました。またこの年、「9 条アジア宗教者会議」が沖縄・那覇で行われました。参加にあたり、伊波さんに、普天間基地で米軍が約束を破り「夜 10:00 以降、発着・訓練」をしてとてもうるさいとの新聞記事を読み、「うるさいところで一泊したい、野宿でもいい」とお願いしました。当日、福岡での講演が終わり次第駆けつけてくださり、「うるさいところで 2 時間」爆音を聞き、自らの運転で那覇のホテルまで送っていただきました。鋭さと優しさを持ち合わせた議員誕生を心から喜んでいます。

5/27(土)のプログラム

・13:30…「ひぐらし会館」3F ホール開場、受付開始
・14:00…開会のことば
~14:25…熱海高校エイサー部、エイサー披露
・14:25…講演者の紹介
・14:30~15:50…伊波洋一さんの講演
・15:50~16:20…質疑応答
・16:20…諸連絡
・16:25…閉会

※ 注

①参加費 500 円。チケットを購入していない方は受付で当日券をお買い求めください。
②車でお越しの方は、「ひぐらし会館」地下駐車場または旧マンダリン跡地駐車場をご利用ください。

見て、学んで、考えた－沖縄の三日間－

◆伊東に住む若い人たちに資金を補助して沖縄を見てきてもらう－沖縄派遣プロジェクトプが無事に終わりました。小学生を含めて 5 人の青壮年が、5 月 12 日(金)~14 日(日)沖縄を訪ねました。伊江島に渡り、辺野古の今を見聞し、高江に入りました。若者たちは何を見、何を感じ、何を考えたでしょうか。参加された 20 代の女性に感想を語っていただきました。

～　伊江島・高江・辺野古をつなぐもの　～

N.S　記

今回の視察で日本に対して、不安や疑問がわきました。1 日目に伊江島の「ヌチドゥタカラの家 資料館」に伺い、当時地上戦が激しく、島民は全員疎開し、人、家、木が一つも残らなかったと知りました。戦後まもなく「伊江島のガンジー」と呼ばれた阿波根昌鴻さんを中心とした農民たちは、″非暴力″で米軍に土地返還の抗議を行いました。これは私が翌日に訪れた高江、辺野古での基地返還抗議と同じでした。現在も人々は自分たちの土地や、安心した暮らしを返してほしいと必死に声を上げています。しかし、その声を受け入れてもらえない現状を目にしてきました。国民の声を聞き入れてもらえるはずの日本ですが、何か間違っていないかと感じます。しかし、諦めたら状況は悪化すると思います。今後も一層声を上げていきます。

鎮守の森 VS メガソーラー

串間 保 一人芝居

『木挽きのほほえみ』

古来より、私達は伊豆の自然と共存し、海の幸・山の幸・温泉という大きな恩恵を受けてきました。また、この自然を敬う信仰の象徴として神社をお祀りし、その鎮守の森は人間の生命の拠り所としておかすべからざるものです。ところが今、この共存精神を忘れた大規模な自然破壊を伴う開発やメガソーラー建設が地元で行われています。この八幡宮来宮神社も、その開発に巻き込まれようとしています。

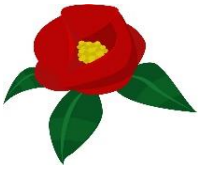
私達はもう一度原点に戻り、このお芝居を通じて伊豆の自然と人々との共存、心と生活の豊かさを考える機会を持ちたいと思います。

2017 年
6 月 10 日（土）
第 1 回目 11:00～
第 2 回目 14:00～

【場所】八幡宮来宮神社境内　伊東市八幡野 1
＊雨天時、伊豆高原十字の園・地域交流ホール（0557-54-1613）
【芝居拝観料】無料
【定員】各回 50 名

【主催】伊豆グリーンプロジェクトチーム　　Visit us @ http://izu-gpt.org
＜問い合わせ・送迎車予約＞　kazuko.matsuyama@izu-gpt.org ／ 090-6648-2422 松山迄

アケートの自由記述ー私記ーの紹介、最終回



西原幸子さん

〈日ごろ思うこと〉

若者をはじめ、政治に無関心な層をどうこちらに取り込めるかについて毎日苦慮しています。

貴会の理念に関しては敬服していますが、無関心層にアピールすることに関しては難しいように思います。わかった人が毎回来て、自分の考えを深めることには役立っていると思いますが。飲まない馬にどうしたら水を飲ませられるかが問題です。仕掛ける側だけが熱くなってはいないか？伊東の場合は若い人の姿もチラホラ見えるので、うまくいっているかとも思いますが。

水野博之さん

一年間いろいろなイベントや情報を伝えていただいたのですが、何か物足りなさを感じていました。沖縄の基地問題、原発の再稼働、憲法改悪の動きなど、これらの諸問題を解決するのには、どう運動をすればいいのか、の視点が欲しかった。情報を提供するからあとは個人で考え行動してほしいということでしょうか。

資料の「ネットワークの 1 年と 17 年度に向けて」で、その苦労や悩みは十分わかるのですが……。しかし、諸悪の根源は安倍内閣にあるのは明らかです。安倍政治の転換のためには何が必要か、事務局で試論してほしい。

竹田雅子さん

原発反対や安倍政権反対などを周りの知人には(そして家族にも)声を出して伝えることが勇気がなく、なかなかできません。手探りで相手がどう思っているか感じ取るしかなかったのですが、たまたま、お二人ですが、同じような考えを持っているということがわかり、その方達とは思っていることを伝え合うことが出来ました。その方達のお知り合いにも私と同じような考えの方も大勢いらっしゃるということがわかり、うれしかったです。正しいことは正しい、間違っていることは間違っている、と声に出すことができる世の中にしたいです。

竹平萬里さん

〈誰でも平和を求めている〉

能力のある人、特別関心のある人、そんな人ばかりでなく、一人でも多くの人に関心を持ってもらうための運動、間口の広い運動を望んでいました。たとえば、「憲法を守る会」等、誰でも平和を望んでいます。誰でも、老後の不安を持っています。まともな生活がいつ壊されるか恐れています。多くの人が気軽に加入できる組織、難しいことを知らなくても感情的に理解できる、そんな運動を求めています。